

2 Active Directory の導入

1. インストールの要件

Active Directoryを導入するには、次の要件を満たしている必要があります。

■ Windows Server 2003

Active Directoryのドメインコントローラとして利用するコンピュータは、Windows Server 2003, Standard Edition, Enterprise Edition, Datacenter Editionのいずれかがインストールされていなければなりません。

※ Windows Server 2003, Web EditionはActive Directoryドメインに参加することはできますが、Active Directoryをインストールしてドメインコントローラにすることはできません。

Active Directoryをインストールする前に、次の環境が設定されていなければなりません。

- インターネットプロトコル (TCP/IP) がインストール済みであること。
- インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティでDNSサーバーのIPアドレスが設定されていること。
- NTFSでフォーマットしたパーティションが存在すること。

※ DNSサーバーのIPアドレスは、Active Directoryのインストール中にDNSをインストールすると、自動的に設定されます。

■ DNS 環境

Active Directoryが利用するためにDNSの動的更新の環境が必要です。すでにBIND 8.1.2等のDNSの動的更新が導入されている場合は、その環境を利用することができます。DNSの動的更新の環境がない場合には、Windows Server 2003で提供されるDNSを利用することができます。Windows Server 2003のDNSは、Active Directoryのインストール中にセットアップすることができます。

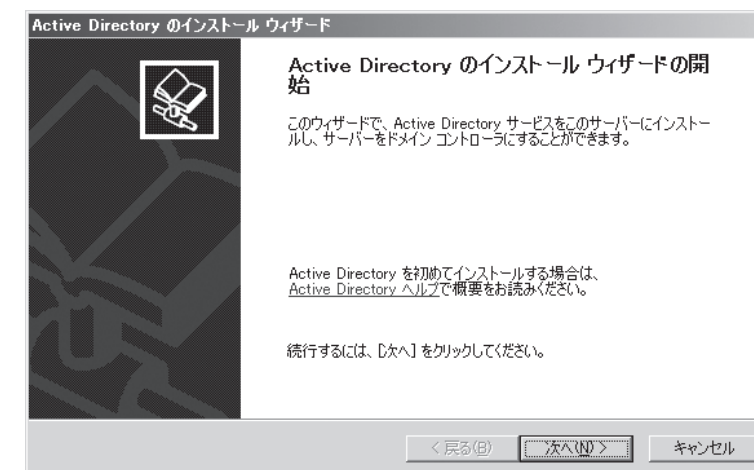
※ Windows Server 2003のDNSは単独でWindows Server 2003のメンバサーバーおよびスタンドアロンサーバーにインストールすることもできます。この場合は、DNSの動的更新の機能をインストール時に有効にするか無効にするか選択することができます。またインストール後も変更することができるため、DNSの動的更新の機能を無効にしている場合は、Active Directoryをインストールする前に、手動でDNSの動的更新の機能を有効にします。

■ Active Directory のインストール

Active Directoryのインストールは、Windows Server 2003の「dcpromo.exe」というツールを使って行います。

このツールをメンバサーバーやスタンドアロンサーバー上で実行すると、そのコンピュータにActive Directoryがインストールされ、ドメインコントローラに昇格させることができます。

また、ドメインコントローラ上でこのツールを実行すると、そのコンピュータからActive Directoryが削除され、メンバサーバーまたはスタンドアロンサーバーに降格します。



2. Active Directory のインストール

■ インストールの準備

Active Directoryのインストールは、dcpromo.exeを使って行います。

最初のドメインコントローラをインストールする時には、次の設定内容をあらかじめ決定しておきます。

- ドメイン名 :これから作成する新しいドメインの名前(例:fom.co.jp)
- DNSサーバー :DNSサーバーのIPアドレス

